

定住促進

心潤す自然と地域の温かさく山梨の魅力く



フリーアナウンサー 高島 彩(たかしま・あや)さん

1979年2月18日生まれ。東京都出身。2001年フジテレビ入社。看板アナウンサーとして、報道から情報・バラエティーまで幅広く活躍。特に「めざましテレビ」のメインキャスターとして国民的人気者に。2010年フジテレビ退社。2011年フォークデュオ「ゆず」の北川悠仁さんと北杜市小淵沢・身曾岐神社にて挙式。現在はフリーアナウンサーとして活躍中。

少子化と
県外への人口流出が続く山梨県では、
地域の活力低下を食い止めるために、
定住人口の確保に取り組んでいます。
山梨の風景も食べ物も大ファンで、
月に1度は訪れているという
フリーアナウンサーの高島彩さんが、
山梨に惹かれて移住してきた皆さんを
訪ね、その魅力を伺いました。

雄大なハケ岳の麓で 古民家レストランを経営

思い描いていた田舎の風景の中に
念願だった自分の店をオープン

古民家が多く残る北杜市大泉町谷戸地区
に昨年5月オープンした「ふらここ食堂」。ここ
は、東京でシエフをしていた高橋昭浩さんと奥
さまの純子さんが、足立区から移住してきて営
むイタリアンレストランです。築160年の古
民家を改修した趣きのある店舗兼住宅です。

店内に足を踏み入れた高島さん。小石
が敷かれた土間で立ち止まり、ぐるりと
辺りを見回すと「歴史ある古民家に、アン
ティークの家具や小物がピタリとおさ
まって、とてもいい雰囲気ですね」と、にっ
こり。続いて案内された2階は開放的な
畳敷きの部屋。「山梨にはよく来るんです
が、こんなに素晴らしい風景は初めて。本
当に良い眺めですね。時間はゆっくり流れ
ているけど、ちっとも退屈じゃない。このまま
ずっと外を見ていたいくらい」と、窓の外に
広がる山々を澄んだ瞳で眺めていました。



▲大好きなハケ岳をバックに

店名の「ふらふら」は、ブランコの雅語。「ふらふらと、こころ」の意味も込めて。



ブランコは、立派な桜の木にしつらえてある

「あの桜、どうなるんだろう？」から地域の歴史を受け継ぐ大切な場所に

「庭の立派な桜の木は、郵便局だったこの家とともに、みんなが集う地域のシンボリックな存在だったようです。改修を始めた頃、近所の方たちは、『切ってしまうんだらうか』と心配そうに眺めていました」と高橋さん。その桜は、店のシンボル

である「ブランコ」とともに、

今も地域のランドマークとなっています。「地元の方たちの利用が多いんですよ。『慣れない土地での生活、不便はない?』など、



とても心配してくれます」と高橋さんは話します。「レストランとしてリニューアルした今も、地域の人たちにとって大切な場所なんて。伝統が引き継がれていて素敵」と、高橋さんも笑顔がこぼれます。



料理には、地元の旬の野菜
ゆくゆくは自分で栽培したい

いい匂いに誘われて、厨房をのぞいた高橋さん。手作りパン、フオカッチャの仕上げをしていた高橋さんを手伝うことに。ハーブを手にして、「このローズマリーは、とても香りが良いですね」と話し掛けた高橋さんに、「実は私が作ったんですよ」と高橋さん。「野菜は地元の農家から分けてもらっているんですが、ゆくゆくは自分で栽培したいと思っていますよ」と話す目が、少年のように輝いています。「それは素敵。おいしいお野菜作ってくださいー」と高橋さんがエールを送りました。

手間を掛けて作った高橋さん自慢のランチをいただいた高橋さん。「この地で育った物だからでしょうね、スツツと体の中に入っていく感じ。とてもおいしくいただきました」と、すっかりご満悦の様子でした。



▲今日のランチは、アンティパスト(前菜・一番奥)、野菜のラグーソース、パスタ、県産豚ロースのグリル(手前左)、そしてドルチェ(手前右)。どの料理も彩りが鮮やか

高橋さんご夫妻が語る やまなし暮らしの素晴らしさ!



高橋: 富士山と甲斐駒ヶ岳と八ヶ岳が全部見える、ぜいたくな場所ですね。移住先を山梨に決めた理由は?

高橋: 東京から1時間半と近いのに、この美しい山々や、きれいでおいしい湧水などの大自然があり、ゆったりとした時間が流れていること。

高橋: こちらでの生活はいかがですか?

高橋: 人がとても温かい。僕らが育った時代の東京・下町のように、みんなで一緒になって遊んだ子どもたちの関係が今もあるんです。それに、大きな声であいさつしてくれる。少年野球をしていて、移住を一番嫌がっていた長男が真っ先になじみ、もっと早く来れば良かったと言っています。この地で、四季の移ろいを感じながら、子どもたちを育てる幸せを感じています。

大自然の中で 伸び伸びと育っています。

長男・耕太郎さんの小学校入学に合わせ、移り住んでから早3年。「一緒に来てくれた家族、チャンスくれた社長、そして、就農を含めさまざまな支援してくれる山梨県にも感謝しています。四季折々に美しい姿を見せる自然と、その自然がもたらす果物や野菜、ワインなど、山梨にはたくさんの魅力があります」と細川さん。奥さまの雅子さんは「子育てにもとても良い場所。大自然を遊び場として、伸び伸びと育っています。育成会などを通じて地域の方とのつながりも出てきました」と話してくれました。



山梨の自然とひとつになった、農業の魅力

日本の原風景が残るこの地で
ブドウを作り、ワインを造り
ワインの文化を築き上げていきたい

次に訪れたのは、甲州市の奥野田葡萄酒醸造。醸造用ブドウを栽培する垣根仕立ての畑に、細川順一郎さんの姿がありました。もともとは故郷・浜松の企業でエンジニアをしていた細川さんですが、ワイン好きが高じてワイン業界へ転職。流通、小売り、ソムリエなど経験を積んだ後、「自らの手でワインを造りたい」との強い思いを実現するため、山梨県の「農業協力隊制度」を利用して、惚れ込んだ奥野田葡萄酒醸造で働く機会を得、家族と共に3年前、山梨に移住してきました。「素敵なブドウ畑ですね」。高島さんの言葉に



▲「日本のワインを通じて世界に日本の文化を伝えたい」と細川さん。この畑に出会って、山梨に移り住み、働くことを決めた

「僕は樹齢15年のカベルネ・ソーヴィニヨンの畑。この時期にきちんと剪定をすることで、糖度が高く、ギュッと凝縮した醸造用のブドウができるんですよ」と細川さん。その横顔は、ワイン造りへの情熱と自信にあふれていました。また「季節ごとに彩りを変える美しいブドウ畑が広がる、ぶどう郷・山梨。自然と向き合いながら過ごす日々はとても充実しています」と、満ち足りた山梨での生活を語ってくれました。



雄大な風景、おいしい野菜、見事なブドウ畑、そして、生き生きと暮らしを満喫しているおうちや皆さん…。いろいろな面を見せていただいているうちに、私だったら山梨のどこに住もつかないと考えたりして、とても楽しかったです。山梨は、いろんな魅力を備えているから、それぞれの思いを表現することができるんですね。山々からのエネルギーも感じられて、ますます山梨が好きになりました。

高島 彩

農業支援や周囲の皆さんの協力で 思った以上のことができています。



横浜で家業の八百屋を営んでいた青木栄一さんにもお話を伺いました。両親とともに移住してきて、ブドウ栽培に取り組んでいます。

高島：ブドウ作りはいかがですか？

青木：うまくいかないこともありますが、すごくやりがいがありますね。僕はまったくの素人でしたので、県の制度が充実していて、技術指導や設備投資など、いろいろな面で支援を受けることができてとても助かりました。

高島：移り住んで感じる、山梨の魅力はどんなところですか？

青木：県内あちこちに温泉施設があるのが、とてもいいですね。空いた時間に景色を見ながらゆったりできる。都会では味わうことができないぜいたくですよ。



魅力あふれる山梨への定住促進を目指して

山梨県の人口は平成14年から減少に転じ、平成23年には、20年ぶりに86万人を割り込み、その後も減少が続いています。人口の減少は、産業の担い手不足やコミュニティの弱体化など、地域の活力低下につながると懸念されています。

私たちの住んでいる山梨県は、美しい風景、豊かな自然の恵み、そして心温かい人々など、二地域居住先のみならず、定住先としても魅力的な場所です。県では、これまで以上に少子化対策に取り組みとともに、山梨の魅力を広く県内外にPRし、山梨への転入（人口の社会増）を促進して、転出（人口の社会減）は抑制することで、定住人口を確保し、地域の活力アップを図っていきます。

ここで紹介するのは、定住人口確保に向けた主な取り組みです。山梨への移住や就職などを希望する方にとって、より魅力ある地となるよう、県民の皆さまも親しい方へのPRや移住者の受け入れなどにご協力をお願いいたします。

「やまなし暮らし支援センター」開設！



県外から幅広い世代の人を本県に呼び込むため、生活情報と求人情報をワンストップで提供する総合相談窓口「やまなし暮らし支援センター」を6月、東京・有楽町の東京交通会館6階「ふるさと暮らし情報センター」内にオープン。やまなし暮らしの魅力を積極的に情報発信していきます。

【問い合わせ先】 観光振興課 TEL 055-223-1573
 労政雇用課 TEL 055-223-1562

県内就職への支援

■やまなしU・Iターンポータルサイトの開設

先輩の就職体験談、就職や移住の相談窓口・支援制度の紹介など役立つ情報を掲載。

■合同就職面接会（年10回以上）

学生などと県内企業とのマッチング機会を提供。

■親のためのUターン就職セミナー

県内の雇用情勢や大学等卒業者の就職状況、保護者ができるUターン就職のための支援などを説明。



東京で開催!!

山梨U・Iターン就職フェア

日時 5月31日（金） 午後1時～4時

場所 パレスサイトビル9階 マイナビルーム
 （東京都千代田区一ツ橋1-1-1）

【問い合わせ先】 労政雇用課 TEL 055-223-1562

やまなし就職応援

検索

新規就農者の確保・定着支援

高齢化と後継者不足が深刻な山梨の農業に担い手を確保するため、農家の後継ぎだけでなく、山梨での新規就農を目指す方などを手厚く支援しています。



■就農定着支援制度

県がアグリマスターとして認定したベテラン農業者が、マンツーマンで栽培技術などを指導。

■農業協力隊

農業法人などでの研修や地域行事への参加などを通して、都会の人材を担い手に育成。



農業協力隊員委嘱式であいさつをする隊長の菅原文太さん



【問い合わせ先】 担い手対策室 TEL 055-223-1621

やまなし担い手対策

検索